

香坂高宗の墓

左側の碑に「永林院殿弾室良正大居士」と刻まれていた。大河原城(大鹿村)は、土豪香坂氏の居城であった。1343 年、香坂高宗は、後醍醐天皇の皇子宗良親王を大河原城に迎え、さらに親王のために仮御所を設けた。ここを拠点に北朝方と戦いを展開した。1355 年には桔梗ヶ原合戦(親王が諏訪氏、仁科氏と共に小笠原氏と戦い敗れる)が起きている。宗良親王は、約 30 年間、大河原で過ごし 1374 年に吉野へ去っている。1385 年に宗良親王は死去した。その後、1390 年頃、高宗は、大河原城から大草城へ移った。青木城、松平城、堀田城及び大島城は、大河原城の支城であった。

(川端紅葉著 2026・2・20)



「香坂高宗の墓」 ©2017.8 川端紅葉